

# 第74回国民体育大会

我らかく戦う

期 日 令和元年9月7日(土)～9月16日(月)

会 場 茨城県ひたちなか市 他

公益財団法人 北海道スポーツ協会

# 我 ら か く 戦 う

## 第74回国民体育大会(会期前実施競技)

競 技	種目／種別	評価	予想順位・得点	戦 い の 展 望	有 望 選 手 ・ チ ー ム	特 記 事 項
水 泳	競 泳	3	個人1位・8点	昨年の実績を上回る。個人種目は勿論であるが、リレー種目においても決勝進出を目指したい。	中島 涼(コナミススポーツクラブ) 山田 海都(スポーツアカデミーソシア) 甲斐 耕輔(ルスツリゾート北海道) 井口 大希(コナミススポーツクラブ新札幌)	2019年度日本選手権 400m自由形 5位 JAPAN OPEN2019 400m自由形 3位 2018年度全国JOCジュニアオリンピックカップ春季 100m背泳ぎ 3位 第73回国民体育大会 100m自由形 3位 2018年度全国中学 100m平泳ぎ 3位
	AS	3		昨年と同じ組み合わせで泳ぐので、75点見えるところまで点数を伸ばしたい。		
	OWS	4	個人3位・6点	男子・梅村歩選手は、苦戦すると思われるが、中段の位置を保ち15位を目指す。女子・蝦名愛梨選手は、昨年5位実績を上回る為に、スタートからトップ集団にくらいつき、ラスト1周で勝負をかけ3位以内を目指す。	蝦名 愛梨(十勝SC帯広大谷高等学校3年) 梅村 歩(国士舘大学3年(札幌大谷高等学校))	2年連続入賞、4年連続出場 4年連続出場
バレーボール (ビーチバレーボール)	少年男子	1		競技人口の少ない北海道からの参戦なので、他のチームのプレーやスタイルを見て自分たちのレベルアップをすること。同世代の北海道の人たちへ競技を広げられるように貢献したい。予選一勝。		
	少年女子	1		初めての出場なので、会場の雰囲気慣れどんな場面でも穏やかに過ごし、笑顔を絶やさず自分たちの現時点での実力が発揮できるよう努めたい。他県の選手との交流を通して、北海道でできることを見つけてきたい。予選一勝。		
体 操	成年男子	3	団体10位	突出して高得点を狙える種目がある訳ではないため、全種目全員で大過失、大欠点をおさえ、着実に点数を重ねる試合運びを目指したい。	須川 侑生(駒澤大学3年(札幌啓成高等学校))	全6種目に穴がなく、チーム内でも安定感を発揮してくれると予想される。
	成年女子	3				各種目においてミスのない演技をして入賞を狙う
	少年男子	3	団体18位	競技レベルは低いチームですが、その中で出来る秘策を見つけ、出場チームの中で一番ミスの少ないチームにする。	大谷 直希(とわの森三愛高等学校3年) 酒井 貴一(札幌啓成高等学校3年) 野坂 宙(とわの森三愛高等学校1年)	2017・2018年全日本ジュニア2部 種目別跳馬優勝 2018年度全国高校選抜大会種目別跳馬準優勝 3年連続出場 2年連続出場
	少年女子	2	団体22位	各自の役割を明確にして、チーム得点を落とさない試合運びを行いたい。全チームで一番ミスの少ない内容を目指したい。	菊池 莉乃(とわの森三愛高等学校3年)	全国大会の経験も豊富で、エースとしての活躍を期待している。
	新体操	4	団体15位	個人戦は、種目の個性を理解し、魅力のある演技をします。団体戦は、「オペラ座の怪人」をイメージした演技内容になっているので見ている方達に表現が伝わる様にします。北海道の代表として悔いのない様に堂々と自信をもって演技をします。	今越 清衣奈(北海高等学校3年) 北脇 爽(北海高等学校3年)	2年連続出場 2年連続出場
	トランポリン	3	個人8位	上位選手との第1自由の点数差は少ないと思うので、正確にこなし、点数の稼げる跳躍点を最大に上げながら総合点を上げる。第2自由は今現在最大の難度点の構成で挑み、総合点を上げていく。	石井 柊(静岡産業大学2年(北見緑陵高等学校)) 末富穂香(北見柏陽高等学校2年・トランポリンクラブKITAMI)	2018年度全日本学生トランポリン競技選手権大会 個人Bクラス優勝 シンクロBクラス優勝 2019年度全国高等学校トランポリン競技選手権大会 個人10位